

12月8日(木)午前8時分頃、兵庫県の国道(片側2車線)において、同県に営業所を置く貸切バスが乗客40名を乗せ運行中、第二通行帯から一般車が割り込んできたため、衝突を避けようと急ブレーキをかけたところ、その揺動により乗客が転倒した。

この事故により、当該乗客が重傷を負った。

なお、当該バスと一般車に接触はなく、その他乗客等にケガはなかった。

(2) 法人タクシーの衝突事故

12月2日(金)午前11時50分頃、大阪府の府道において、府内に営業所を置く法人タクシーが空車にて運行中、前方を走行していた乗合バスに追突し、その後道路左側のマンション外壁に衝突した。

この事故により、当該タクシーの運転者が死亡した。

(3) 個人タクシーの死傷事故

12月2日(金)午前4時5分頃、東京都の都道において、都内に営業所を置く個人タクシーが空車にて運行中、前方で起こった衝突事故により道路上に投げ出されたオートバイ運転者をひいた。

この事故により、当該オートバイ運転者が死亡した。

(4) 中型トラックの酒気帯び死傷事故

12月1日(木)午後4時頃、熊本県の県道において、同県に営業所を置く中型トラックが運行中、信号機のある交差点を右折する際、横断歩道を青信号で渡っていた歩行者をはねた。

この事故により、当該歩行者が重傷を負った。

事故後の警察の調べにより、当該中型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。

(5) 大型トラックの衝突事故

12月6日(火)午前10時15分頃、和歌山県の国道において、同県に営業所を置く大型トラックが運行中、対向車線を走行してきた乗用車がセンターラインをはみ出し、当該大型トラックと衝突した。

この事故により、乗用車の運転者と助手席に乗っていた同乗者の計2名が死亡し、同じく乗用車の後部座席に乗っていた同乗者が重傷、当該大型トラックの運転者も軽傷を負った。

上記5件の死傷者数計：死亡4名、重傷3名、軽傷1名(速報値)



2. トピック

(1) 運転者が体調不良等を生じた場合における適切な運行管理の徹底について (新着情報)

事業用自動車の安全確保の徹底については、機会あるごとに注意喚起しているところですが、今月4日、高速乗合バス運転者が運行中に体調不良が生じているにもかかわらず、運行管理者に報告することなくそのまま運行を継続し、前方車両に追突し乗客等9名が負傷する事故が発生しました。

輸送の安全確保は自動車運送事業者の最大の使命であり、これまでも運送事業者の方々には健康起因事故を防止するための様々な取り組みを実施していただいているところですが、こうした中で、多数の旅客の命を預かる高速乗合バスにおいて運転者の体調不良に起因する事故が発生したことは大変遺憾です。

については、輸送の安全を確保し、同種の事故の再発防止に努めていただくため、貴会会員に対し、改めて下記について周知徹底をお願いいたします。

記

1. 運転者は、運行中に体調不良等を生じた場合には、周囲の安全に配慮しつつ直ちに車両を安全な場所に停車し、運行管理者に報告し、指示を受けること。
2. 運行管理者は、運転者の日常の健康状態の確認を行うことはもとより、運転者から体調不良等の報告があった場合には、速やかに状況把握を行い、運転者に対し適切な指示を行うとともに、交替運転者を手配する等運行管理を適切に行うこと。
3. 自動車運送事業者は、定期健康診断の実施はもとより、国土交通省の「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」※等も活用して運転者の健康状態の把握に努めるとともに、日頃からコミュニケーションを図ることにより、運転者が、自身の健康状態等について、運行中も含め気軽に相談・申告できる職場環境づくりに努めること。

※ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03safety/health.html>

(2) 近畿運輸局 第14回自動車事故防止セミナーを開催いたします【近畿運輸局発】

(配信日：R4.12.2)

近畿運輸局では、事業用自動車の事故防止対策の一環として、平成19年度より自動車事故防止セミナーを開催しております。

本年度（令和4年度）は14回目となりますセミナーを3年ぶりに開催いたします。

学識経験者、運送事業者、国土交通省自動車局安全政策課による講演を予定しておりますので、是非ご参加いただき、今後の事故防止対策の参考にさせていただければ幸いです。

なお新型コロナウイルス感染拡大等の状況により、WEB配信のみもしくは全面中止させていただく場合がありますのであらかじめご了解ください。

日時：令和5年1月25日（水） 13時00分から16時00分（開場12時00分）
場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）7Fホール
大阪市中央区大手前1丁目3番49号
定員：200名（事前申し込みが必要です。※）
参加費：無料

※セミナーの詳細やお申込みにつきましては、近畿運輸局ホームページ（<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/>）をご覧ください。
→プレスリリース：近畿運輸局 2022年12月2日 第14回自動車事故防止セミナーを開催します！をご覧ください。

(3) 自動車事故対策費補助金の申請受付期間を延長します
(配信日：R4.12.2)

国土交通省では、自動車運送事業における交通事故防止の観点から、先進安全自動車（ASV）や運行管理の高度化に資する機器の導入等の取組を支援するため、要件を満たした事業者に対して自動車事故対策費補助金を交付する事故防止対策支援推進事業を実施しておりますが、その申請受付期間を令和4年12月23日までに延長いたします。

1. 実施する補助事業

- (1) 先進安全自動車（ASV）の導入に対する支援
- (2) 社内安全教育の実施に対する支援

2. 補助事業の内容

申請方法等制度の内容につきましては、国土交通省のホームページの以下のページに掲載されております。

先進安全自動車（ASV）の導入に対する支援

http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/01asv/esc_04.html

社内安全教育の実施に対する支援

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/subcontents/jikoboushi.html>

3. 補助事業の交付申請受付場所・受付期間

- 申請受付場所：最寄りの各地方運輸局、運輸支局等
- 申請受付期間：上記URLをご確認ください。

4. 留意点

申請受付期間中に申請総額が予算額に達する場合は、申請受付期間であっても申請受付を終了致しますのでご注意ください。

(4) 自動車局での大雪時の大型車立ち往生防止対策について

～今冬の立ち往生の発生を抑止するために～

(配信日：R4.12.2)

自動車局では、本年も、①車両対策（冬用タイヤの装着やチェーンの携行・装着の徹底）、②運送事業者対策（輸送の安全を確保するために必要な措置の実施、運輸局による指導・監査）、③荷主対策（荷主への周知体制の確立）を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

運送事業者や自動車使用者の皆様におかれましては、改めて下記注意点をご確認の上で、冬期の走行に万全を期して頂きますようよろしくお願いいたします。

① 自動車ユーザーの皆様へ

- ・積雪・凍結路では、必ず適切な冬用タイヤの装着をお願いします。
- ・また、運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを、「プラットホーム」で確認をお願いします。
- ・チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着をお願いします。

② トラック・バス運送事業者の皆様へ

- ・年末年始の輸送等に関する安全総点検※の実施項目「6. 大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認をお願いします。
 - ・運送事業者は、大雪時等輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行の中止等の指示、冬用タイヤの溝の深さ、滑り止めの措置が講じられていることの確認等、輸送の安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。
 - ・雪道において、悪質な立ち往生事例が発生した場合は、監査で事実関係を確認した上で、講じた措置が不十分と判断されれば行政処分の対象となります。
- ※ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html

③ 荷主の皆様へ

- ・大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場

合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。

- ・大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

（その他）気象情報の活用

- ・気象庁HP の「今後の雪」も活用のうえで、事前に天気予報をご確認ください。

<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

国土交通省プレスリリース：

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha08_hh_004634.html

(5) 中部運輸局 自動車事故防止セミナー2022聴講者を募集します【中部運輸局発】 (配信日：R4.11.18)

中部運輸局では、安全・安心なクルマ社会の実現に向けた取り組みとして、「中部運輸局 自動車事故防止セミナー2022」を開催しますので、聴講者を募集します。本セミナーにおいて、自動車先進安全技術を広く紹介するとともに、自動車運転者自身の運転について振り返り、安全・健康意識について見つめ直していただければと考えております。

また、セミナーの様態を後日編集しY o u T u b eによる録画配信も行います。是非この機会にご参加ください。

日 時：令和5年2月2日（木） 13:00～17:00（開場12:00）

場 所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）2階 大ホール（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

定 員：400名（事前申込制）

テーマ：「社会の変化に対応した事故防止対策」

参加費：無料（どなたでも参加いただけます）

受付期間：令和4年12月1日（木）～令和4年12月28日（水）（定員になり次第締め切ります）

※セミナーの詳細やお申込みにつきましては、中部運輸局HP（Mission1st運動ページ）をご覧ください。

→ <http://wwwtb.mlit.go.jp/chubu/gian/mission1st.html>

(6) 観光バスの安全確保の徹底について

(配信日 : R4. 10. 14)

10月13日(木)午前11時50分頃、静岡県小山町の県道において、観光バスが乗客を乗せ運行中、横転し、1名が死亡、3名が重傷を負うという誠に痛ましい事故が発生した(同日15時現在)。

今後、徐々に需要が回復していくことが見込まれる貸切バス業界において、輸送の安全確保は、自動車運送事業者の最大の使命であり、事故を起こさず、国民の生命、身体及び財産をしっかりと守ることこそが、運送事業の社会的信頼を維持するために最も必要なことである。

このため、観光バスの安全確保の徹底を図り、利用者の信頼回復に万全を期すため、貴会傘下会員に対し安全対策及び事故防止の徹底が図られるよう下記事項について周知徹底を図られたい。

記

1. 運行管理業務を再確認し、安全確保の原点に立った確実な運行管理を実施すること。特に次に掲げる事項について改めて実施を徹底すること。
 - (1) 確実に点呼を実施すること
 - (2) 乗務員の健康状態、過労状態の確実な把握に努めること
 - (3) 適切な運行計画を作成し、確実に指示すること
 - (4) 適切な運転操作等運行の安全を確保するために遵守すべき事項について指導すること
2. 乗車中のシートベルトの使用等、乗客の安全確保を図るための周知事項を再徹底すること。
3. 運行にあたっては、車両の点検整備を確実に実施するとともに、乗務員に対して制限速度の遵守をはじめとした道路交通法等の法令順守の徹底を図るなど、安全の確保を最優先するよう関係者に徹底すること。

(7) 観光バスのブレーキに関する取扱いの徹底について

(配信日 : R4. 10. 14)

10月13日(木)午前11時50分頃、静岡県小山町の県道において発生した観光バスの事故においては、国自安第94号(上記(1)「観光バスの安全確保の徹底について」を示す)により、安全確保の徹底について指示したところ。事故原因については現在調査中であるが、ブレーキが効いていなかったとの情報もあることから、改めて下記事項について周知徹底を図られたい。

記

1. 整備管理業務を再確認し、特に、ブレーキは安全上極めて重要な装置であ

- り、その点検整備を徹底すること。
2. 長い下り坂で、フットブレーキを頻繁に使い過ぎると、急にブレーキが効かなくなることがあるため、低速のギアを用いて、エンジブレーキを活用するよう運転者に指導すること。
 3. ブレーキ関係のみならず、リコールの対象となっている車両については、早期に改修すること。

(8) 大型車の適切なタイヤ脱着・保守管理作業解説動画を公開しました！

(配信日：R4.10.14)

車輪脱落事故を起こした大型車では、著しいさびや汚れ等により劣化した部品が使用されていたり、タイヤ脱着時にホイール・ボルトやナットの清掃や潤滑剤の塗布等が適切に行われていない状況が確認されたことを踏まえ、大型車ユーザー等のタイヤ脱着作業者が、いつでも適切なタイヤ脱着作業や保守管理作業の手順を確認できるよう解説動画を作成し、国土交通省YouTubeチャンネルに公開しました。

この機会に是非とも解説動画をご覧ください、適切なタイヤ脱着作業や保守管理作業の実施をお願いします。

【国土交通省YouTubeチャンネル】

https://www.youtube.com/watch?v=Szz2ZF7Gd_4&list=PL2RgY_hjimJRI12zJVaaYbwEEKAmD5YVi

(9) 貸切バスの覆面添乗調査を実施します

(配信日：R4.10.7)

国土交通省では、運行中の貸切バスに調査員を利用者として乗車させ、法令遵守状況を調査しています。

今年度は、令和4年10月から令和5年2月にかけて実施します。

1. 今年度の調査予定

- ①調査対象者：貸切バス事業者 ※無通告により実施
- ②調査実施者：国土交通省が委託した者
- ③調査項目：区域外運送の有無、休憩時間の確保、シートベルトの装着の案内や装着の状況、交替運転者の配置状況、など

2. 昨年度までの調査結果

本調査は、平成29年度より実施しており、重大な法令違反の疑いが確認された事業者には監査を実施、その結果、法令違反が確認された2事業者に対し行政処分を行っています。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000520.html

(10)大型車のホイール・ナットの緊急点検を行います！

(配信日：R4.10.7)

「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」により事故車両の調査を行ったところ、タイヤ脱着作業時に各部品のさびや汚れの点検、清掃や潤滑剤の塗布が行われていない事案が確認されました。このような状況を踏まえ、令和4年10月1日より大型車のユーザー等のタイヤ脱着作業者に適切なタイヤ脱着作業の徹底を呼びかける「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を開始しました。

今年度の取組として、大型車のユーザーに適切なタイヤ脱着作業の実施を働きかけるダイレクトメールを郵送するとともに、車齢4年以上の大型車に対してはホイール・ナットの適切な保守管理について、緊急点検を行います。

なお、緊急点検の結果、劣化したホイール・ナットの交換が必要な場合は、大型自動車メーカー（4社）より左後輪分の新品ホイール・ナットが無償提供されます。

【対象車両】2018年9月30日以前に登録された大型車

大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン

【実施期間】令和4年10月1日～令和5年2月28日

【重点項目】

- 大型車のホイール・ナットの緊急点検の実施
- 啓発チラシや動画を活用し、大型車ユーザーやタイヤ専門店、自動車整備事業者等の関係者に向けて、適切なタイヤ脱着作業の実施を啓発
- 各地方運輸局が行う街頭検査における、大型車のホイール・ナットの緩みの点検
- 事業用自動車運送事業者において「ホイール・ナットの緩みの総点検」を実施

冬用タイヤ交換シーズンに向けて、適切なタイヤ脱着作業や増し締めを徹底をお願いいたします。

(11) 高速乗合バスの安全確保の徹底について

(配信日 : R4. 8. 26)

8月22日(月)午前10時頃、愛知県名古屋市北区の名古屋高速道路において、高速乗合バスが乗客を乗せ運行中、横転・炎上し、2名が死亡、7名が負傷するという誠に痛ましい事故が発生した(同日午後4時現在)。

輸送の安全確保は、自動車運送事業者の最大の使命であり、事故を起こさず、国民の生命、身体及び財産をしっかりと守ることこそが、運送事業の社会的信頼を維持するために最も必要なことである。

このため、高速乗合バスの安全確保の徹底を図り、利用者の信頼回復に万全を期すため、貴会傘下会員に対し安全対策及び事故防止の徹底を図られるよう下記事項について周知徹底を図られたい。

記

1. 運行管理業務を再確認し、安全確保の原点に立った確実な運行管理を実施すること。特に次に掲げる事項を適切に実施すること。
 - (1) 確実に点呼を実施すること
 - (2) 乗務員の健康状態、過労状態の確実な把握に努めること
 - (3) 適切な運行計画を作成し、確実に指示すること
2. 乗車中のシートベルトの使用等、乗客の安全確保を図るための周知事項を再徹底すること。
3. 運行にあたっては、車両の点検整備を確実に実施するとともに、乗務員に対して制限速度の遵守をはじめとした道路交通法等の法令順守の徹底を図るなど、安全の確保を最優先するよう関係者に徹底すること。

(12) バス事業者における乗務中の携帯電話・スマートフォンの使用禁止の徹底について

(配信日 : R4. 5. 6)

事業用自動車の安全確保の徹底につきましては、機会あるごとに注意喚起しているところですが、先月28日、高速乗合バス運転者が運転中にスマートフォンを操作し、乗客より注意を受けるといふ事案が発生いたしました。

事業用自動車の運転者、特に多数の旅客の命を預かるバス事業者においてこのような安全を軽視する行為を行ったことは極めて遺憾であります。

輸送の安全の確保は、自動車運送事業者の最大の使命であり、これまでも「事業用自動車総合安全プラン2025」に基づき、様々な取組みを実施してきたところですが、改めて乗務中のスマートフォンの操作の禁止について徹底するとともに、同種事案の再発防止に努めていただくよう、貴傘下会員に対して周知徹底をお願いいたします。

いたします。



【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車局安全政策課

* このメルマガについてのご意見は、

< hqt-mailmagazineotoiawase@gxb.mlit.go.jp >までお寄せください。

よくある質問（配信登録の解除方法等）

（ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html> ）

* ご登録されたメールアドレスの変更は、配信登録を解除していただき、新たに配信登録をお願いします。

配信登録を解除する場合は、以下のアドレスで登録解除することができます。

（ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/stop.html> ）

【参考】

* 自動車局ホームページ

（ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html> ）

* 自動車の不具合情報はこちら

最近、自動車に乗っていたら異常発生、なんてことはありませんでしたか。そんな時は、車検証を用意して、国土交通省「自動車不具合情報ホットライン」に連絡です。皆様の声は、車種ごとに、ホームページ上で公開され、メーカーがきちんとリコールをしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用されます。

・ ホームページ受付

（ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/hotline.html> ）

・ フリーダイヤル 0120-744-960（年中無休・24時間）

（オペレータ受付時間 平日9:30~12:00 13:00~17:30）

* 自動車のリコール等の通知等があったときは！

使用されている自動車について、自動車ディーラーなどから、リコール又は改善対策の通知が送付されたり、その対象であることが新聞等で公表されたときは、安全・環境への影響から、その自動車の修理を行うことが必要になったということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

